

観音岳から見た秋色の薬師岳

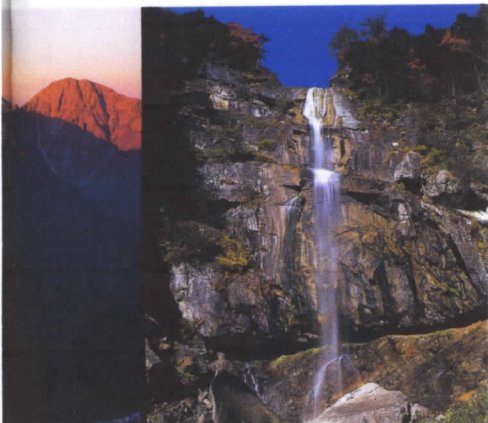
2015

鳳凰三山

雄大な白峰三山の眺望をほしいままに
個性的な三山を縦走する

夜叉神峠登山口～薬師岳～観音岳～地藏ヶ岳～青木鉱泉

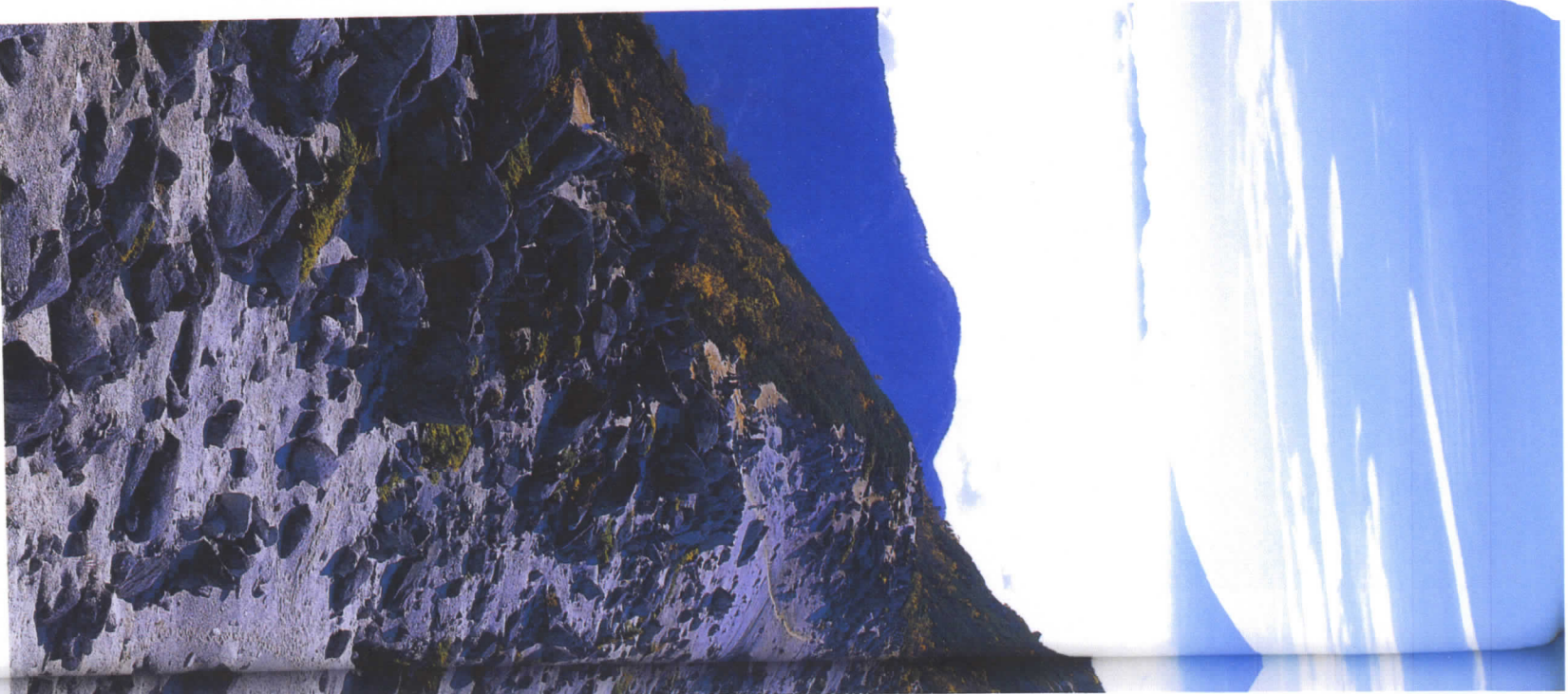
撮影・清水隆雄





鳳凰三山のツンボル・地蔵ヶ岳のオベリスク

薬師、観音、地藏、山上に展開する極楽浄土。
 鳳凰三山にはまさにそんな雰囲気that漂う。
 南アルプスでもアプローチが便利なエリアにあり、
 樹林、花、展望、滝、そして温泉と、
 数多くの魅力に満ちた秀峰だ。



左／賽ノ河原の子掬げ地藏と甲斐駒ヶ岳 中／朝日に染まる白峰三山 右／ブンドコ沢にかかる五色ノ滝

Planning Navi

難易度	体カ☆☆ 岩様★
標準日程	1泊2日
登山適期	7月下旬～10月上旬
最大標高差	1690m
所要時間	13時間35分
コース距離	約17km
交通費	新宿駅起点1万7110円 新大阪駅起点3万4090円
山小屋宿泊費・雑費概算	1万円
プロツアー ほうおうさんさん	薬師岳 (2780m)、観音岳 (2840m)、地藏岳 (2764m) の三山を総称して鳳凰三山 と呼ぶ。雄大な展望が魅力。 百名山





夜叉神峠登山口から南御室小屋へ

夜叉神峠登山口①から、カラマツ林の中を緩やかに登り始める。山ノ神を過ぎて五本松まで登れば、ほどなく夜叉神峠②に着く。夜叉神峠小屋の前は明るく開け、白峰三山の好展望台となっている。

峠から右の笹道を進むと一旦下りになるが、すぐにカラマツ林の急登になる。やがて、コメツガの樹林帯に入ると、杖立峠③まで単調な登りが続く。峠から山腹を巻いていくと、山火事跡の明るい斜面に出る。階段状の岩の道を登り、再び深い樹林帯に入ると、緩く長い登りが続く。葎平④の鞍部から、辻山の山腹を巻くように下れば、明るい草地に建つ南御室小屋⑤に着く。

南御室小屋から地蔵ヶ岳へ

小屋の横から急斜面をひと登りして、尾根を巻くように進む。ガマの石を過ぎて森林限界を抜けると砂払岳だ。花崗岩の間を通り、少し下ると薬師岳小屋⑥の前になる。ここから薬師岳までは10分ほどの登りで、白峰三山の眺望がすばらしい山頂に着く。

薬師岳からは気持ちのよい白砂の稜線をたどり、三山の最高峰観音岳⑦に立つ。地蔵ヶ岳、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳、八ヶ岳、富士山と360度の展望が広がる。

山頂からは急斜面の下りが続く。鳳凰小屋への分岐を右に分け、最低鞍部まで下る。岩稜帯を赤抜沢ノ頭へと登り返すと、端正な地蔵ヶ岳のオベリスクが目の前に聳えている。右に下って、賽ノ河原⑧に降り立つと子授け地蔵が並んでいる。

地蔵ヶ岳から青木鉢泉へ

地蔵ヶ岳をあとにして白ザレの急斜面を下り、左手の樹林帯に入る。20分ほど下って、沢を渡ると鳳凰小屋⑨だ。小屋の前を右に折れて、青木鉢泉へ下るドンドコ沢のコースに入る。

ドンドコ沢源流の左岸を進み、しばらくして左斜面の樹林帯に入る。少し登ってか

ら、あとはドンドン下ると五色ノ滝だ。ここから樹林の急坂を下ると白糸ノ滝。さらにひと下りで鳳凰ノ滝の入口に着く。流れ落ちる様が非常に優美な滝なので、寄ってみるとよい。滝をあとにさらに下り続けるみなせりと南精進滝⑩だ。小さな沢をいくつか越え、深く切り込んだ沢を渡って崖を登れば、あとは平坦な道になる。

ジグザグ道になれば下りも終わり、青木鉢泉への山沿いと沢沿いの分岐が出る。沢沿いのコースに入り、小武川沿いの広い道に出れば青木鉢泉⑪は近い。鉢泉で汗を流していくのもよいだろう。

標高差グラフ

